

【イベントレポート】

国内最大級の夏場用スノーボード練習施設 完成記念イベント開催 開志国際高校アスリートコース在学・ソチ五輪銀メダリスト平野歩夢が デモンストレーションで世界の技を披露

新潟県の私立高校、学校法人大彦学園 開志国際高等学校（理事長 池田祥護、校長 宮路隆）は、“スノーボード専攻”や“アメリカンフットボール専攻”など、全国でもあまりないアスリートコースを用意しています。この度、2014年10月13日(祝・月)に日本海スケートパーク内（新潟県村上市）で開催された、国内最大級の夏場用スノーボード練習施設「サマースノーボードアプローチキッカー」完成記念イベントにて、本校アスリートコースに在学し、五輪選手として世界で活躍するスノーボーダーの平野歩夢がゲストとして参加し、デモンストレーションを行いました。

この施設は、スノーボード選手が夏場のシーズンオフでもハーフパイプを練習できるようにするため、日本海スケートボード協会が新潟県村上市のオリンピック選手育成のための補助金を活用し、建設しました。高さ約15メートル、全長約60メートルのこの「サマースノーボードアプローチキッカー」は、ハーフパイプ上級者向けの練習施設となり、県内の有望選手が利用します。

当日は、本校在学・ソチ五輪銀メダリストの平野歩夢をはじめ、5名の日本を代表するスノーボード選手がアプローチキッカーを利用したデモンストレーションを披露し、会場にいる観客を魅了しました。国内最大級の屋外練習施設で初のパフォーマンスを行った平野歩夢は、「こうした施設は海外に行かないとなかったため、地元で近場にできたことはすごく嬉しいし、今後楽しみ。4年後、来年・再来年の大会に向けてもここで頑張っって練習していきたい。」とコメントし、国際大会に向けての意気込みを語りました。

また、イベント後に行われた竣工式では、開志国際高等学校スノーボードヘッドコーチ、日本海スケートボード協会事務局長の平野英功さんが登壇し、今回のボードキッカーの設立にあたり「継続的にオリンピック選手を夢見ている人の力になったり、メダルの色を変えようとする選手に少しでも貢献できればいいと思っています。」とコメントしました。

本校では、次年度から設立するスノーボード部の練習でもこの施設を活用し、ヘッドコーチ平野英功の協力のもと、日本を代表するスノーボード選手の育成に力を入れていきます。

【イベント概要】

- 実施日時：2014年10月13日（祝・月）
- 実施場所：日本海スケートパーク隣接施設内（新潟県村山市瀬波温泉3-4-10）
- ゲスト：平野歩夢、平野英樹選手、平野海祝選手、山田悠翔選手、鈴木拓巳選手



デモンストレーションで巧みな技を披露した平野歩夢

【サマースノーボードアプローチキッカー概要】

- 建設：日本海スケートボード協会
- 場所：日本海スケートパーク内
- 建設費：約1500万円
- 広さ約510平方メートル、高さ約14メートル、全長約60メートル（着地用マット含む）



鉄パイプが組みまれ、巨大な滑り台のような斜面を作成。その上に人工芝が敷かれ、滑走できる。斜面の終点にはエア（空中技）を飛ぶためのジャンプ台のような部分があり、選手はエアを決めた後、マットに着地する。



開志国際高等学校
アスリートコース スノーボード専攻 在学
平野 歩夢

2014年のソチ五輪で決勝で1回目で90.75点2回目で93.50点をマークし2位につけ、銀メダルを獲得した。15歳74日でのメダル獲得は冬季五輪日本人史上最年少記録かつスノーボードにおける最年少のオリンピックメダリストとしてギネス世界記録に認定された。



開志国際高等学校
スノーボード部 ヘッドコーチ
平野 英功

2014年ソチ五輪で銀メダリストとなった平野歩夢選手をはじめ息子3人をスノーボーダーとして育成。国内外においてスノーボーダー、スケートボーダーの育成に励み、国内最新の練習環境での選手育成に努めている。



学校法人 大彦学園 開志国際高等学校
〒959-2637 新潟県胎内市長橋上439-1

TEL:0254-44-3330 | Fax:0254-44-6663 | HP:<http://kaishi-kokusai.ed.jp/>